

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式							
		卒業研究 (Graduation research)					研究科目		対面							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態							
必修		4	医学部先進医療科学科	通年	他	日本語			複数(共同)							
担当教員	氏名 穴井博文 他(学科全教員) E-mail anaiana@oita-u.ac.jp 内線 5138															
授業の概要	各研究室の指導教員の指導のもとで各自テーマを設定し、誠実な姿勢で研究に取り組む研究倫理を涵養し研究を実践する。研究室配属は、2年後期から各研究室に配属を行う。日々の研究を通して、様々な研究に必要な基礎的スキルや問題解決能力を修得する。また、研究成果を発表会で口頭発表し、最後に卒業論文にまとめて提出する。															
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	
目標1 自らの疑問を研究疑問に発展させ、研究テーマを考える。																
目標2 関連する先行論文を読んで概略をまとめ、自らの研究の目的と意義を考える。																
目標3 研究デザイン・方法・分析・考察などのプロセスを体験し研究論文を作成する。																
目標4 自身が行った研究内容を発表し、他者に伝えるプレゼン能力を身につける。																
目標5 研究のプロセスを振り返り、研究的に物事を考える重要性と意義を認識する。																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
各DPへの関連度(計10)									2	2	1	2	1	2		
授業の内容																
1 複数のテーマを考え、そのテーマを選んだ理由を書いた「テーマ届」を提出する。																
2 指導教員が決定されたら、担当教員の指導のもとで研究を進める。																
3 「研究計画書」を作成し、指導教員に提出する。																
4 研究計画に沿って研究を進める。																
5 研究論文を執筆し、本文と要旨を提出し、口頭発表の準備を始める。																
6 発表会を行い、他の学生や教員と研究内容等について議論し、理解を深める。																
7 教員による「評価表」をもとに、最終評価を行う。																
8 研究の要旨は「卒業研究要旨集」として卒業時に配布される。本文は製本され、本学科と図書館に配架される。																
9																
10 [研究成果の評価]																
11 1. 卒業論文																
12 指導教員の指示に従い、期間内(先行配属期間も含む)に実施した研究内容をまとめる(下記参照)。																
13 また、卒業論文の作成に当たっては、研究実施内容を実習参加学生にも理解できるように努める。																
14 このことで、学生の研究実施分野以外の領域への理解を深め、今後の学習意欲の向上を図る。																
15 (例)「課題解決研究」のまとめ方																
16 目的(研究背景)、方法、結果(図表を含めてもよい)、考察、(必要であれば)参考文献といった一般的な論文形式でまとめることとする。																
17																
18 2. 研究発表																
19 研究室配属、卒業研究に参加した学生は、口頭発表の方法で(状況に応じ、Zoom・オンデマンド方式への変更もあり得る)。																
20 指導教員(指導講座)以外の教員・学生に対して研究成果を報告する。																
21 発表することにより、学生の発表技術向上を目指すとともに、当該分野以外の研究者・学生に「気づき」をもたらすことを期待する。																
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																
29																
30																
ラーニング	A:知識の定着・確認		・グループワークや口頭発表を行い、研究計画や結果について他の学生や教員と				工		そ		夫		の		他	
	B:意見の表現・交換		意見を交換する。				夫		の		の		の		の	
	C:応用志向		・担当教員と研究結果の実践応用について議論する。				の		の		の		の		の	
	D:知識の活用・創造															

授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	文献検索に慣れる。原著論文などさまざまな形式の論文を読む。										
	事後学修	研究結果について、他の学生や教員と議論する。										
	想定時間合計											
教科書	なし											
参考書	なし											
成績 評価 の 方法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	研究への取り組み方	40%										
	研究論文	30%										
	口頭発表・振り返り(評価表)	30%										
注意事項												
備考												
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の 実務 経験	医師、臨床検査技師、臨床工学技士											
教員以外で 指導に関わ る実務経験 者の有無												
教員以外の 指導に関わ る実務経験 者	医師、臨床検査技師、臨床工学技士											
実務経験を いかした教 育内容	医師・臨床検査技師・臨床工学技士・研究者としての経験から課題を抽出し、研究の方法や進め方、結果の解釈および考察の仕方の実際についての学習を支援する。											